

【8月21日（木）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
1	9:00～10:40	【福岡女子大学の歴史】 1923年に日本で初めての公立女子専門学校として誕生以来、100年をこえる歴史をもつ福岡女子大学について、各時代の状況や理想に合わせて変化してきた女性像という視点から考察します。また、日本の女子大学をとりまく現状についても考えます。 （グループワークあり）	渡邊 俊 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	福岡女子大学 講義棟2階 C201
2	11:00～12:40	【途上国の貧困と一村一品運動】 途上国の貧困問題とそれを改善するための草の根の取り組みとして一村一品運動を紹介します。また、その取り組みが持つ経済学的なインプリケーションについても考察します。	佐藤 秀樹 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	
3	13:40～15:20	【東南アジアの経済変容】 現代の東南アジア諸国は、米中対立・デジタル化・コロナ禍・紛争といった内外の動向を受けて、大きな変容の局面を迎えています。本講義では、その歴史と現状について、経済的視点から照射し、日本はこの地域とどのように関わればよいか、またアジアの未来はどうなるかを考えます。	小西 鉄 准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	
4	15:40～17:20	【福岡エリアの商業集積】 福岡県は九州において中心的な都市として経済発展を遂げてきました。特に福岡市には、天神や博多に代表される商店街など複数の商業の中心地が存在しています。本講義ではグループワークを通じて商店がどのように集まっていくか考えていきます。 （グループワークあり）	柴田 聡 准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	



【8月22日（金）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
5	11:00～12:40	【産業連関表から見る九州の経済構造】 産業連関表とは、ある経済において一定期間に行われた財・サービスの産業部門間の取引を一つの表に取りまとめた統計表であり、経済構造の分析や経済効果の算出など様々な場面で用いられています。今回は、産業連関表を用いて九州の経済構造の特徴を把握し、九州の産業構造の相互依存関係を考察していきます。 (グループワークあり)	白新田佳代子准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	福岡女子大学 講義棟2階 C201
6	13:40～15:20	【阿蘇の草原が九州にもたらす恵み】 九州の中央に位置する阿蘇の草原。福岡市民にとって身近な観光地となっている。実は、観光だけでなく私たちの生活に不可欠な水の供給に大きな役割を果たしています。 その阿蘇の草原はそのままの自然ではなく、地域の住民の知恵と生活によって数千年に渡り保全されてきました。しかし、その草原が今、大きな危機に面しています。生態系サービスでつながる福岡の生活と阿蘇の草原について学びます。本講義においては簡単なWSを予定しています。 (グループワークあり)	竹内 亮 講師 (福岡女子大学 国際文理学部)	
7	15:40～17:20	【九州の自然資源とその経済的活用】 九州には自然エネルギーやバイオマスなどの豊富な自然資源が存在しています。そうした自然資源をより活用するためにどのような政策やアイデアが必要なのかを学びます。本講義においては簡単なWSを予定しています。 (グループワークあり)	竹内 亮 講師 (福岡女子大学 国際文理学部)	



【8月25日(月)】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
8	9:00～10:40	【九州産業大学の歴史と現状】 1960年(昭和35)年に九州産業大学の前身である「九州商科大学」が開学してから65周年を超えた九州産業大学。創設者の中村治四郎氏の生い立ちから、教育への飽くなき情熱などを振り返ります。	松原 岳行 教授 (九州産業大学 国際文化学部)	九州産業大学 3号館 3306AB 教室
9	11:00～12:40	【第四次産業革命がもたらす産業構造変革】 1800年代以降、人類は3回の産業革命を経験してきました。そして現在、われわれは4回目となる第四次産業革命に直面しています。 過去3回の産業革命と同様に、第四次産業革命もあらゆる産業分野に非連続な変革をもたらすと考えられています。本授業では、第四次産業革命について解説します。そのうえで、九州の産業界に生じる変革について考察をおこないます。 (グループワークあり)	砂口 洋毅 教授 (九州産業大学 経済学部)	
10	13:40～15:20	【みんなが大好きな食べ物が半導体！？面白い半導体の世界への旅】 甘いお菓子、辛い料理、コーヒー、紅茶など普段皆さんが食べたり飲んだりしている食べ物に半導体と関係のある目に見えない何かが有ります。九州で話題となっている半導体産業について、文系・理系学生の皆さんと半導体に関する教養的な内容を一緒に考えましょう。さらに、食べ物や絵具などが作り出す次世代の有機半導体の世界についても紹介します。	貞方 敦雄 講師 (九州産業大学 理工学部)	九州産業大学 12号館 12216 教室
11	15:40～17:20	【有機分子を用いたデバイスづくりにチャレンジ】 ワークショップ形式で身の回りの有機分子などを用いたデバイスづくりにチャレンジしましょう。下記のテーマを実施予定です。予定なので変更になることもあります。 「カーテンが要らない窓!? エレクトロクロミック」 (ワークショップあり)	貞方 敦雄 講師 (九州産業大学 理工学部)	九州産業大学 12号館 12217 教室



【8月26日（火）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
12	9:00～10:40	【九州の持続可能な発展とインフラ広報】 くらしや経済を支える基盤がインフラです。しかしその維持は困難になりつつあります。本授業では下水道を例に、その広報活動に焦点をあてます。いま路上のあちこちにカラフルなマンホール蓋が見られます。蓋はカード化され、新たな観光資源にもなっています。それらの事例を通して、九州の持続可能な発展に必要なインフラ広報について考えます。	佐藤 忠文 講師 (九州産業大学 地域共創学部)	九州産業大学 3号館 3306AB 教室
13	11:00～12:40	【生かされにくい素材で新たな付加価値づくり】 食品流通の現場では、見慣れないもの、規格から外れるものは敬遠されがちです。食料品価格が高騰する中、こうした素材を生かすことは地域経済にもプラスになります。本授業では九州内で取り組まれる事例を紹介し、素材を実際に味わいながら、皆さんが思い描く商品プランを考えてみたいと思います。 (素材を使うワークショップ、紙ベースの作業あり)	尾崎 正利 教授 (九州産業大学 地域共創学部)	九州産業大学 3号館 3303 教室
14	13:40～15:20	【スポーツ産業の過去と現在】 本授業では、スポーツ用品産業の歴史と現状を概観し、技術革新や市場の変遷、主要企業の戦略・環境・倫理問題への対応を考察します。過去から現在への発展を理解し、今後の産業動向やビジネス機会を探る視点を養います。(グループワーク・ペアワークあり)	萩原 悟一 教授 (九州産業大学 人間科学部)	九州産業大学 3号館 3306AB 教室

